

第3節

国際的な環境保全活動への協力・貢献

1 国際的な環境協力・貢献の推進

1-1 (財)国際環境技術移転研究センターによる環境保全活動

環境問題のなかで、とりわけ大気、水質等の環境汚染問題が顕著化している開発途上国等の諸外国に対して四日市地域を中心として中部圏に蓄積された環境保全に資する産業技術を移転するため、中部圏を中心とする産業界、学界等の全面的な支援を得て、「(財)国際環境技術移転研究センター」(ICETT)を設立し、地球環境保全に資する産業技術の移転を進めています。

平成20(2008)年度においても、国、地方公共団体、産業界、学界等の広範な支援・協力を得て、産業公害防止に関する研修・技術指導、研究開発、調査・情報提供等を行いました。また、これらの事業の有機的連携によって、諸外国の特性に応じた円滑な技術移転の推進を図りました。

1-2 (財)国際環境技術移転研究センターの機能強化

(財)国際環境技術移転研究センター(以下ICETT)は企業や県民からの開発途上国に関する環境情報提供の強い需要に応えるため、その蓄積している情報の発信に努めています。そのため、既存情報ばかりでなく新たな情報収集を毎年行い、収集したデータを整理・データベース化し、ホームページを開設して情報発信しています。平成20(2008)年度も引き続きゼロエミッションをはじめとする環境情報の収集と、環境情報ネットワークシステムの充実を図りました。

また、平成14(2002)年3月に認証取得したISO14001に基づき、エコオフィスにおける省資源・省エネルギー・リサイクルばかりでなく、事業関係者による事業評価も取り入れた「質の向上」を実施しています。この認証取得を通してICETTは国内受入研修員にも実行を促す等、関係者への環境意識の向上を目指した活動を展開しています。

さらに平成15(2003)年10月に、気候変動枠組条約の実施をサポートする機関で、欧州を中心とした地球環境問題を目的とした組織であるCT

I(気候技術にかかる自発的活動)の事務局となり、世界的な地球環境問題解決に貢献できるよう活動を展開しています。

1-3 保健環境研究所における調査研究等

地球規模の環境問題の解決に向け、保健環境研究所ではICETTから発展途上国研修員の研修受入を行っています。

1-4 姉妹友好提携先に対する環境協力の推進

中国河南省への環境保全支援として、平成20(2008)年度は「固形廃棄物の処理」をテーマに、法体系、処理技術等に関して、県職員2名による6日間の派遣研修と河南省環境保護局の研修員3名を対象に22日間の受入研修を実施しました。

また、平成20(2008)年度からの3ヶ年事業として、JICA草の根技術協力事業・地域提案型の採択を受け、「市民の環境意識向上を目指す環境教育」をテーマに河南省の省職員1名、市職員16名を対象に9日間の受入研修を実施しました。

1-5 その他の国際協力

アジア自治体の環境改善を支援するため、アジアの開発途上国の自治体を対象に、環境改善計画策定、人材育成、専門家派遣、適地技術の移転等を有機的に組み合わせ、総合的にモデル事業を実施し、その結果をアジアの他の自治体へ波及させることとしています。

平成20(2008)年度は、カンボジアにおいて事業を実施しました。